



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小澤口 信行 (TEL) 03-6862-1701 (代)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	11,123	7.9	406	28.3	402	28.4	173	76.2
2025年9月期第3四半期	10,305	5.5	316	4.7	313	5.5	98	△26.5

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 183百万円(102.1%) 2025年9月期第3四半期 90百万円(△29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	18.65	18.60
2025年9月期第3四半期	10.63	10.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	6,483	3,098	47.8
2025年9月期	6,282	2,961	47.1

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 3,098百万円 2025年9月期 2,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,000	8.2	480	14.1	460	10.2	200	21.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	10,734,200株	2025年9月期	10,734,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年9月期3Q	1,421,600株	2025年9月期	1,470,500株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期3Q	9,285,964株	2025年9月期3Q	9,244,422株
------------	------------	------------	------------

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境・所得環境の改善や、堅調なインバウンド需要などを背景に緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、円安基調の継続や中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学リスクの拡大を背景とした物価上昇の継続などにより、今後の個人消費への影響が懸念されております。加えて、世界経済におきましても、日中関係の不安定化や、米国の通商政策による影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、慢性的な技術労働者不足などの課題に加え、中東情勢の影響による建設資材の価格高騰を背景に建設コストは依然として高く、今後の動向に注視が必要な状況であります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、不動産価格の上昇により、住宅需要が低迷しており、国土交通省発表による2025年7月～2026年6月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比99.9%、分譲マンションが前年同期比90.4%、住宅市場全体としては前年同期比97.3%と減少いたしました。商環境に関しましては、インバウンド需要の好調や、都市部を中心とした再開発需要などにより総じて堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念に基づき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながらサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。

物価上昇や人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、当社グループは受注単価の上昇に努めたこと、また採用活動の強化や協力会社網の充実による労働力確保を図り、着実に市場の需要を取り込んだことにより、第3四半期連結累計期間としては過去最高の売上高を更新いたしました。また、人的投資などの成長投資や、子会社の事務所移転に付随する費用などの増加により販売費及び一般管理費は増加いたしました。売上総利益の伸長により、各段階利益は増加いたしました。なお、当社が保有する投資有価証券について減損処理を実施したため、投資有価証券評価損を特別損失として計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,123,506千円（前年同期比107.9%）、営業利益は406,442千円（前年同期比128.3%）、経常利益は402,048千円（前年同期比128.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は173,174千円（前年同期比176.2%）となりました。なお、当社グループでは過去の組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に144,167千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は546,216千円（前年同期比119.4%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は317,341千円（前年同期比130.9%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス区分別の状況は以下のとおりであります。

① リペアサービス

当第3四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は3,517,022千円（前年同期比103.3%）となりました。

戸建向けリペアの売上高は、当第3四半期連結累計期間の6ヵ月前の期間の新設住宅着工戸数（主に住宅引渡し直前に提供するサービスであり、戸建住宅の着工から竣工までの平均期間を考慮）が減少している影響を受け、前年同期比で受注件数は減少したものの、受注単価が上昇したため、2,774,291千円（前年同期比103.2%）と前年同期並みで推移いたしました。集合住宅向けリペアの売上高は、延べ人工数が減少したものの生産性が向上したことなどにより、742,731千円（前年同期比103.5%）と前年同期並みで推移いたしました。

② 住環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は3,258,991千円（前年同期比105.4%）となりました。

定期点検の売上高は、実施件数の増加により、1,336,688千円（前年同期比107.4%）となりました。小型修繕、各種施工、検査、コーティングの売上高は、検査が好調に推移したことに加え、定期メンテナンス工事の増加により、1,733,276千円（前年同期比103.3%）となりました。リコール対応の売上高は、189,026千円（前年同期比111.4%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は3,847,616千円（前年同期比115.6%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設等の内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境市場の需要堅調による店舗・商業施設、ホテル、オフィスなどの内装工事案件の増加により、増収いたしました。

④ 商材販売

当第3四半期連結累計期間における商材販売の連結売上高は499,876千円（前年同期比104.3%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス商材を販売しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,483,503千円となり、前連結会計年度末に比べ201,495千円の増加となりました。

流動資産は4,324,093千円となり、前連結会計年度末に比べ386,866千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が519,367千円増加したこと、受取手形及び売掛金が224,693千円減少したことなどによります。

固定資産は2,159,410千円となり、前連結会計年度末に比べ185,371千円の減少となりました。これは、主にのれんが144,167千円減少したこと、繰延税金資産が49,481千円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,385,497千円となり、前連結会計年度末に比べ65,290千円の増加となりました。

流動負債は2,978,122千円となり、前連結会計年度末に比べ85,124千円の減少となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が60,000千円増加したこと、未払費用が59,542千円増加したこと、賞与引当金が103,550千円減少したこと、未払法人税等が102,904千円減少したこと、買掛金が84,109千円減少したことなどによります。

固定負債は407,374千円となり、前連結会計年度末に比べ150,414千円の増加となりました。これは、主に長期借入金が150,000千円増加したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,098,006千円となり、前連結会計年度末に比べ136,205千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が99,064千円増加したこと、自己株式の処分に伴い24,743千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末比0.7ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において特別損失として計上いたしました投資有価証券評価損については、四半期洗替え方式を採用しており、今後、損失計上額変動、または損失未計上となる可能性があります。

従って、現時点の連結業績予想につきましては、2025年11月12日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,626,858	2,146,226
受取手形及び売掛金	1,915,985	1,691,292
商品及び製品	135,168	175,373
原材料及び貯蔵品	37,302	35,091
その他	227,760	281,184
貸倒引当金	△5,848	△5,075
流動資産合計	3,937,226	4,324,093
固定資産		
有形固定資産	77,721	87,737
無形固定資産		
のれん	1,730,013	1,585,845
その他	47,685	34,362
無形固定資産合計	1,777,699	1,620,207
投資その他の資産		
繰延税金資産	177,159	127,677
その他	314,398	326,839
貸倒引当金	△2,196	△3,052
投資その他の資産合計	489,360	451,464
固定資産合計	2,344,781	2,159,410
資産合計	6,282,008	6,483,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	547,858	463,748
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	180,000
未払法人税等	160,978	58,073
賞与引当金	270,608	167,058
未払費用	525,335	584,877
その他	588,466	674,364
流動負債合計	3,063,247	2,978,122
固定負債		
長期借入金	250,000	400,000
その他	6,960	7,374
固定負債合計	256,960	407,374
負債合計	3,320,207	3,385,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,284,700	2,286,513
利益剰余金	869,970	969,035
自己株式	△744,073	△719,329
株主資本合計	2,972,385	3,098,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,584	-
その他の包括利益累計額合計	△10,584	-
純資産合計	2,961,801	3,098,006
負債純資産合計	6,282,008	6,483,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,305,337	11,123,506
売上原価	6,552,271	7,034,006
売上総利益	3,753,065	4,089,499
販売費及び一般管理費	3,436,158	3,683,057
営業利益	316,906	406,442
営業外収益		
受取利息	883	2,041
固定資産売却益	-	3,766
その他	13,491	11,970
営業外収益合計	14,374	17,778
営業外費用		
支払利息	12,482	14,461
固定資産除却損	486	7
障害者雇用納付金	4,350	5,125
その他	727	2,578
営業外費用合計	18,047	22,172
経常利益	313,234	402,048
特別損失		
投資有価証券評価損	26,356	15,042
特別損失合計	26,356	15,042
税金等調整前四半期純利益	286,878	387,006
法人税、住民税及び事業税	161,527	169,222
法人税等調整額	27,069	44,610
法人税等合計	188,596	213,832
四半期純利益	98,281	173,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,281	173,174

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	98,281	173,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,365	10,584
その他の包括利益合計	△7,365	10,584
四半期包括利益	90,916	183,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,916	183,758
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含みます。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	50,730千円	29,246千円
のれんの償却額	144,167 "	144,167 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,405,553
住環境向け建築サービス	3,091,368
商環境向け建築サービス	3,329,276
商材販売	479,138
顧客との契約から生じる収益	10,305,337
その他の収益	—
外部顧客への売上高	10,305,337

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

(単位：千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,517,022
住環境向け建築サービス	3,258,991
商環境向け建築サービス	3,847,616
商材販売	499,876
顧客との契約から生じる収益	11,123,506
その他の収益	—
外部顧客への売上高	11,123,506